

質問回答書

次の工事に関する質問に回答します。

令和元年11月26日

工事名：R1企工 吉野川北岸工業用水道 今切配水本管管更生工事（2）
工事箇所：板野郡北島町太郎八須～中村（第2分割）

番号	質問事項	回答
1	間接工事費の工種区分について 本工事の諸経費算定は、見積参考資料によると【この工事の諸経費算定においては、『(全国簡易水道協議会) 令和元年・水道事業事務必携』の算定基準を採用している。】と記載されていますが、その算定基準に規定された工種区分は【シールド工事及び推進工事】・【開削工事及び小口径推進工事】・【構造物工事（浄水場等）】の3工種区分しかないと思われませんが、見積参考資料の経費情報の工種区分には【その他（工事）】と記載されています。本工事の諸経費算定に使用する工種区分についてご教示ください。	諸経費の工種区分については【開削工事及び小口径推進工事】を使用
2	共通仮設工－運搬費について 見積参考資料 単 136 号～単 138 号に仮設材の運搬距離が 10km と記載されていますが、現在、鋼矢板等の重仮設機材調達先は、積算上、四国4箇所であり、すべて県外と認識していますが、現設計に於いて重仮設機材調達先をどこに想定していますか。尚、実際の調達先により、運搬費は変更対象となりますか。	契約後、10km 圏内の調達先に仮設材がない場合は、協議の上、変更の対象とする
3	地盤改良工－固結工－【No.5 立坑】について 単 40 号内の高圧噴射攪拌工の本数が単位数は 4 本と記載されていますが、単価表内記載本数は 6 本となっています。ご指示願います。	計上数量については、現地の状況により、協議の上、変更の対象とする
4	付帯工－施工費－分岐管処理工－事前処理工について 単 125 号内の炭素繊維の規格または、設計上単価をご教示下さい。	炭素繊維の規格は高強度 2 方向・繊維目付量 300g/m ² 、材料単価は 6,660 円/m ²

番号	質問事項	回答
5	付帯工－施工費－分岐管処理工－仕上工について 単 127 号内の INS 管体仕上げ材（上塗り・下塗り）の規格または、設計上単価をご教示下さい。	INS 管体仕上げ（上塗り・下塗り）の規格は上塗りがアクリル樹脂系、下塗りがエポキシ樹脂系、材料単価は 4,210 円/kg
6	共通仮設費－技術管理費－土質等試験費について 現設計書では、33 項目の土質試験が計上されていますが、六価クロム溶出試験（高圧噴射攪拌工法）・徳島東部処分場の搬出に係る土質試験（残土処理工）が必要と思われませんが、変更対象と考えてよろしいでしょうか。	六価クロム溶出試験については現場説明書に記載のとおり変更対象とする。なお残土処理工については 搬出先との調整の上、必要であれば変更の対象とする。